

沙流川日高町富川地区水害タイムライン 第5回検討会

平成30年1月30日(火)に日高町門別総合町民センターにおいて、「沙流川日高町富川地区水害タイムライン第5回検討会」を開催しました。

タイムラインは、沙流川で水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民及び防災対応者の安全確保を図るための事前防災行動計画です。日高町では沙流川の氾濫を想定して、平成29年度に関係機関が集まって検討会を行って「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」を策定し、運用を開始する予定です。



【実施日時】 平成30年1月30日(火) 13:30~17:00

【実施場所】 門別総合町民センター 2階 大集会室

【参加者】 日高町・防災関係機関 14機関 67名
(座長・副座長・アドバイザー・事務局等含む)

1. 開会

開会に際し、松尾座長から開会挨拶がありました。

今まで皆さんと議論をしてタイムラインを作ってきたが、出水期前に一度、演習を行ってそれぞれの機関の防災計画とのすり合わせや出てきた課題、足りないことなどを解決しておくことが必要。今日は読み合わせ確認だが、異動で担当者が変わった場合でもわかるような文言に加筆修正していくことが本検討会の責務だと思うので、この時間を有効に活用してもらいたい。とお話しされました。



2. 全体協議

開会後は座長の進行により、全体協議が開始されました。はじめに事務局から進め方の説明を行い、協議はファシリテーターの進行のもと、タイムライン一次案に基づいて防災行動項目を読み合わせていきました。全機関で行動内容を共有し、役割分担の修正を行うとともに、主に他の機関と連携が必要な項目について、情報の流れや連携方法の確認・調整を行いました。その場で結論が出せない課題もあり、今後、各機関で対応策を検討して調整していくこととなりました。



3. 全体講評

最後に検討会全体を通して、志田アドバイザー、黒木副座長、松尾座長からそれぞれ講評を頂きました。

志田アドバイザーからは、いよいよタイムラインを試行するステージに入ったが、日高町から情報提供のあった防災行政無線のデジタル化といった新たなシステムも含め、住民が逃げる気になる情報を提供することが大切。黒木副座長からは、役割分担が特定部署に集中しているので、限られた人員の中で住民の安全確保することが必要。松尾座長からは、タイムラインはみんなで合意するものなので、引き続き役場内での役割分担を議論をして、住民の安全確保に活かせるタイムラインを作って行って欲しい。と、それぞれお話を頂きました。



次回は、本日の検討結果をもとに試行演習(図上)を行い、タイムラインの活用方法の共有と修正課題の抽出を行う予定です。